

《執筆の手引き》

1. 原稿のレイアウト

Fig.1 論文刷上り例を参照のこと.

2. 書面や文字のサイズ

用紙サイズはA4 (210mm×297mm) とし, 余白は上 20mm, 下 35mm, 左右 20mm として下さい.

1 ページあたりの文字数は MS-Word 標準の文字数として下さい.

3. 文書の書式

1 枚目の最初には論文のタイトルと著者のリストを和文及び英文で記述して下さい. その際, タイトルは 14pt・太字・中央揃え, 著者のリストは 12pt・中央揃えとして下さい. 著者には番号かマークを振り, 1 枚目の左下に脚注としてそれぞれの所属を和文及び英文で記述して下さい.

その下にはアブストラクト及びキーワードを英文で記述して下さい. その際, キーワードは 5 語以下として下さい.

その下からは原則 2 段組 (主として数式等の使用の少ない文系の場合, 1 段組でも可能) で本文を記述して下さい. 本文は, 「はじめに」, 内容, 「おわりに」の構成で, 各章のタイトルは 10pt・太字・中央揃えとし, 章番号を振って下さい. 各章内で更に節を設ける場合, 1.1, 1.2, 1.3 というように節番号を振って下さい. 本文は 10pt 程度の文字サイズにして下さい.

本文の最後には本文中で用いた参考文献のリストを記述して下さい. 参考文献は, この段落の最後に示すように, 上付きで文献番号を記述することで参照して下さい¹⁾.

文書の最後に著者紹介を記述して下さい. 著者ごとに, 名前, e-Learning 学会員か否か, 顔写真, 簡単な経歴を記述して下さい.

3. 英文要旨: アブストラクトとキーワード

英文要旨は, 本文と切り離して, 論文の趣旨および主要な成果が具体的にわかるように書き, 300 語以内 (ショート・ペーパー, 開発・技術ノートの場合は 40 語以内) とする. また, 5 語程度の英語のキーワードをつける.

4. 参考文献

参考文献は引用個所の右肩に番号を小さく(1)のよ

うに記入し, 本文の末尾にまとめて記載する. 論文および単行本の場合の記載方法は, それぞれ

(番号) 著者: 論文題目, 誌名, 巻 (太字) 一号, 始ページ/終ページ (西暦年)

(番号) 著者: 書名, ページ, 発行所名 (発行西暦年)

とする.

5. 脚注

脚注は, 本文の下に境界線を引き, その下に記入する. 記号は右肩に (注 1) などをつける (脚注も原稿のこま内に書く).

6. こまどり

本文は書出しおよび改行後の書出し部分を 1 こまあける. また見出し番号のつぎも 1 こまあける. そのほかはすべて左端から書きはじめる. ピリオドは {.,} , カンマは {,} とし, 1 字分を占める.

7. 図・表・写真

図, 表, 写真は, それぞれ図 1, 図 2, …… , 表 1, 表 2, …… , 写真 1, 写真 2, …… とし, 図中の中身および表題には説明をつける.

図は, 前後に 1 行程度の空白を入れ, 図番号と図の名称を図の下部に記述して下さい. 表は, 同様に前後に空白を入れ, 表番号と表の名称を表の上部に記述して下さい. また, 図や表は必ず本文中で参照するようにして下さい. 挿入例を図 1 及び表 1 に示します.

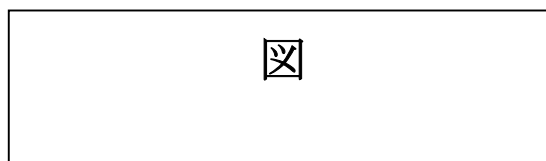


図 1 図の挿入例

表 1 表の挿入例

A	B	C
XXX	*****	ZZZ
YYY	*****	WWW

図, 表, 写真の大きさは, 刷上り最大 1 ページであり, これ以上にならないよう考慮する. 特に添字などは大きめに書く. 表は最大横 50 字, たて 48 行以内のものとする.

8. 数式基準

- (1) イタリック (斜体)
数量または数値を表わす記号はイタリック体 (斜体) またはギリシャ文字とする.
- (2) ローマン (立体)
単位, 演算, 関数名は特殊なものを除きローマン (立体) とする.
例: kg, s, μ F, div, grad, rot, Σ , det
- (3) 分数式
分数式は原則として, $\frac{b}{a}$, $\frac{a+b}{c+d}$ のように書くが, 簡単な数式や本文中に入れたいときは, b/a , $(a+b)/(c+d)$ のように 1 行に書く.
- (4) 特殊記号
偏微分記号, 積分記号, Δ , ∇ , \lt , \subset , \in などの特殊記号は, ミスを防ぐためはつきりと書く.

9. 著者紹介

論文集に掲載する論文は (ショート・ペーパー, 開発・技術ノート, 討論は除く), 1 名につき 120 字程度 (英文の場合は 200 字) の著者 (連名者も同じ) の最終学歴, 職歴, 研究略歴および著者写真をつける (事務局より要請があったときに送付する).

また, 生年月日, および紹介関連日時等はすべて西暦で記載する.

10. おわりに

本論文では, 論文の書式についての説明を行った. また, XXXXXXXXXXXX である.

11. 投稿論文の PDF 変換方法

学会 PDF 変換基準に関しては Adobe のソフトを基準に記載しています.

- ① Adobe PDF をクリックして変換設定の変更を行う.
- ② 設定の項目を PDF 設定⇒《Press Quality》に指定する.
- ③ OK で戻る.
- ④ Word の文章を PDF 化する.

[著者紹介]

論文 一郎 (正会員)

写真

XXYY 年〇〇大学△□学部〇〇科卒業, XXYZ 年同大学大学院修士課程修了, XXZY 年同大学大学院博士課程修了. 博士 (×〇). XXZZ 年〇〇大学講師. 現在, 同大学△□学部〇〇科教授. AAAA, BBBB, CCCC 等の研究に従事.

日本 e-Learning 学会, 〇〇〇学会等各会員

論文 二郎 (学術会員)

写真

XXYY 年〇〇大学△□学部〇〇科卒業, XXYZ 年同大学大学院修士課程修了, XXZY 年同大学大学院博士課程修了. 博士 (×〇). XXZZ 年〇〇大学講師. 現在, 同大学△□学部〇〇科教授. AAAA, BBBB, 等の研究に従事.

日本 e-Learning 学会

論文 三郎 (学生会員)

写真

XXXX 年〇〇大学□□学部☆☆科卒業, XXXX 年同大学大学院××科△△専攻修士課程入学, 現在に至る. 日本 e-Learning 学会, 〇×学会, □×学会の学生会員.

論文 四郎 (非会員)

写真

XXYX 年〇×大学△□学部〇△科卒業, XXYX 年△×株式会社入社, XXYX 年〇×△研究所に向, 現在に至る.